

# 世田谷区民意調査 2021

## (概要版)

(令和3年5月実施)

区民意調査概要版は、令和3年5月に実施した「世田谷区民意調査2021」を要約したもので、広く区民の方にその内容を知っていただくために作成しました。

今回の調査は、「定住性」「職員応対」など経年的な変化を把握するための調査項目に加え、地域行政制度、気候危機、新型コロナウイルス感染症に伴う生活への影響などに関する項目を調査対象といたしました。

これらの調査結果については、区政を推進するための基礎資料として活用してまいります。

また、詳しく知りたい方は、世田谷区の区政情報センター、区政情報コーナー、区立図書館、区のホームページで「世田谷区民意調査2021」をご覧ください。

### 調査の概要

対象者 世田谷区在住の満18歳以上の男女

対象数 4,000人

(内訳/日本国籍3,913人、外国籍87人)

抽出方法 層化二段無作為抽出法

調査方法 郵送配布・回収またはインターネットによる回答

調査期間 令和3年5月25日～6月4日

有効回収数 2,086人

(内訳/日本国籍2,056人、外国籍30人)

有効回収率 52.2%

(内訳/郵送回収1,525通・73.1%、  
インターネット回収561通・26.9%)

### 回答者の属性

- 1 定住性
- 2 区政
- 3 職員応対
- 4 地域行政制度
- 5 福祉と医療
- 6 悩みや不安の相談先
- 7 高齢者の居場所
- 8 障害者を支える取り組み
- 9 子育て・子どもを取り巻く環境
- 10 地域コミュニティ
- 11 公共施設
- 12 災害時の備え
- 13 男女共同参画の推進
- 14 犯罪被害者支援
- 15 多文化共生
- 16 文化活動
- 17 スポーツ
- 18 たばこマナー
- 19 農業
- 20 産業
- 21 気候危機
- 22 広報
- 23 新型コロナウイルス感染症に伴う生活への影響

※過去に同様の調査を行っている項目については、直近のデータを記載しています。

令和3年9月



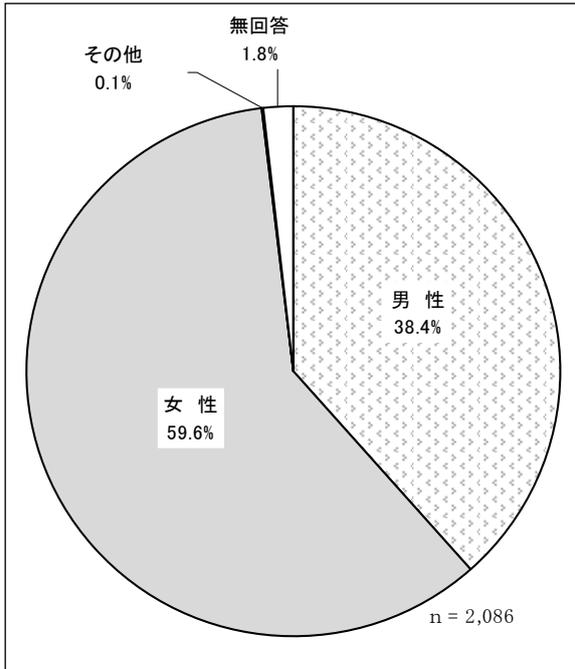
世田谷区

### グラフの見方

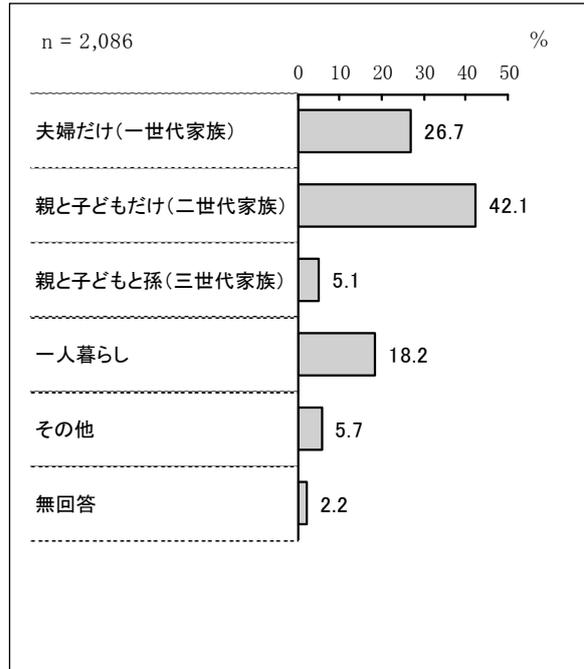
- 1 (複数回答) と記述されたもの以外は、選択肢を1つだけ選ぶ設問です。
- 2 小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならないものがあります。
- 3 複数回答の設問については、合計が100.0%を超えることがあります。
- 4 グラフ中のnは、設問の回答者数を表します。

### 回答者の属性

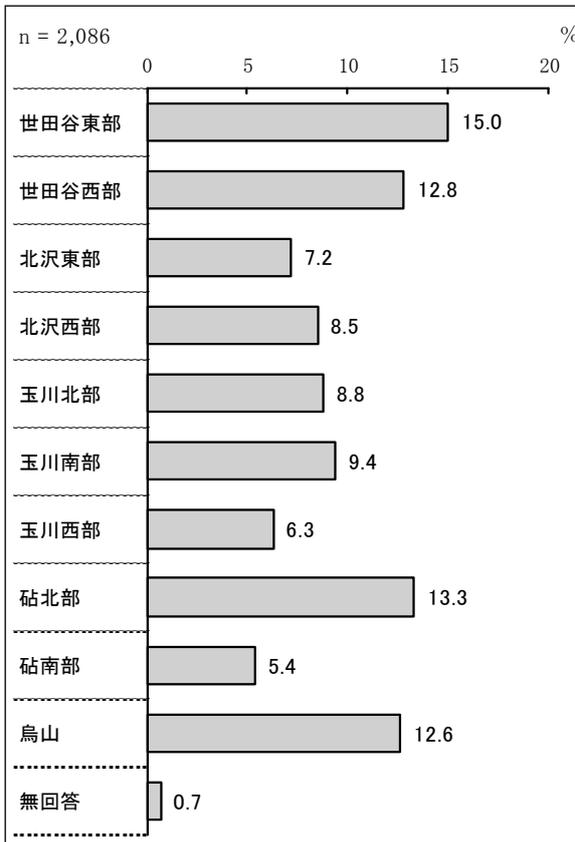
(1) 性別



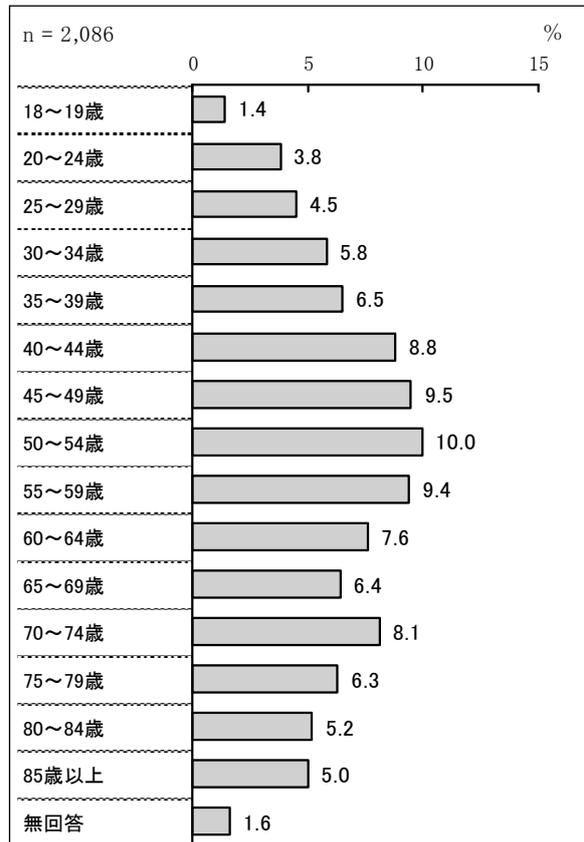
(2) 家族構成



(3) 居住地区



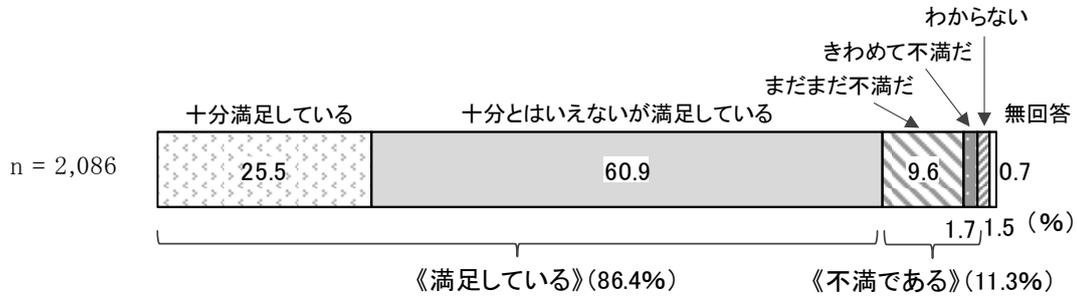
(4) 年齢



# 1. 定住性

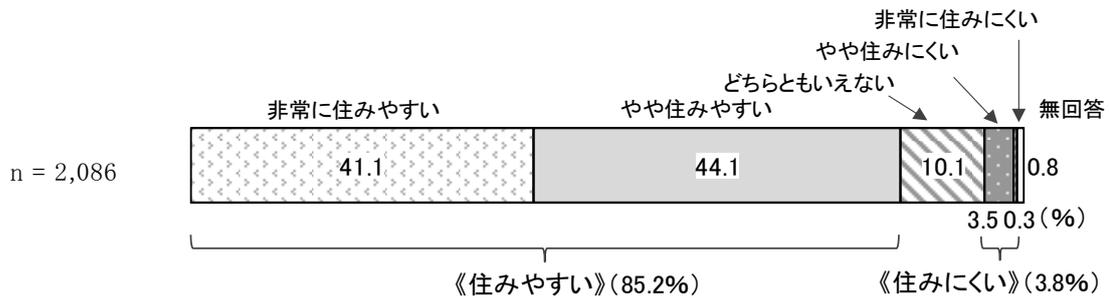
## (1) 暮らしの満足度

現在の暮らしについて、《満足している》と感じている方は86.4%となっています。  
 (令和2年度は87.3%)



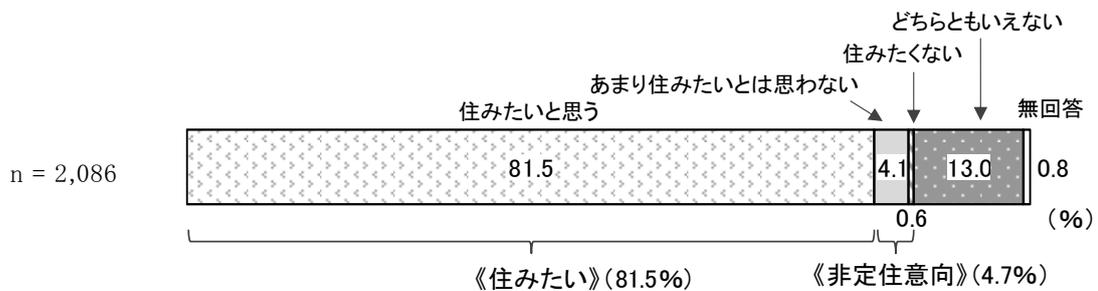
## (2) 住みやすさ

《住みやすい》と感じている方は85.2%となっています。  
 (令和2年度は83.6%)



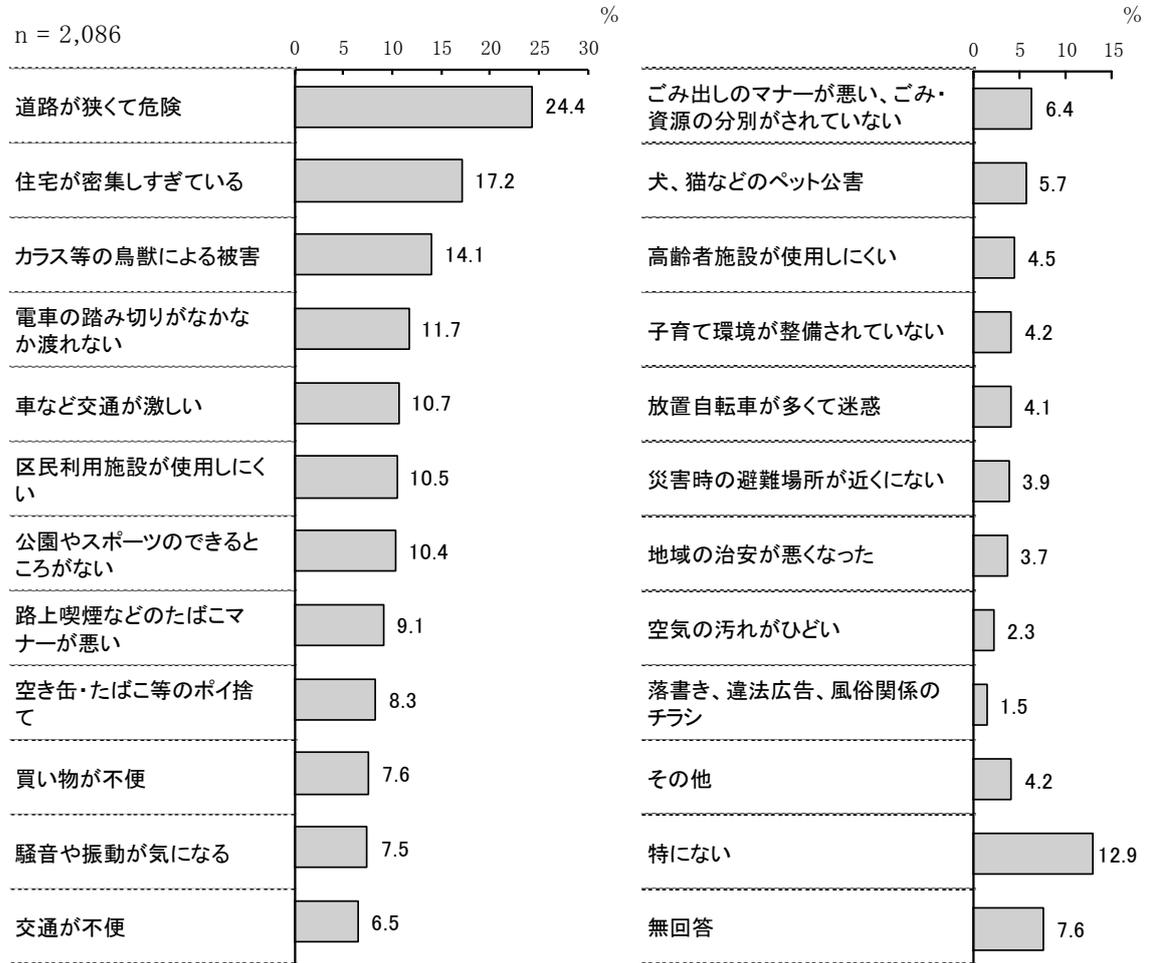
## (3) 定住意向

今後も世田谷区に「住みたいと思う」方は81.5%となっています。  
 (令和2年度は81.7%)



(4) 地域における日常生活での困りごと（複数回答）

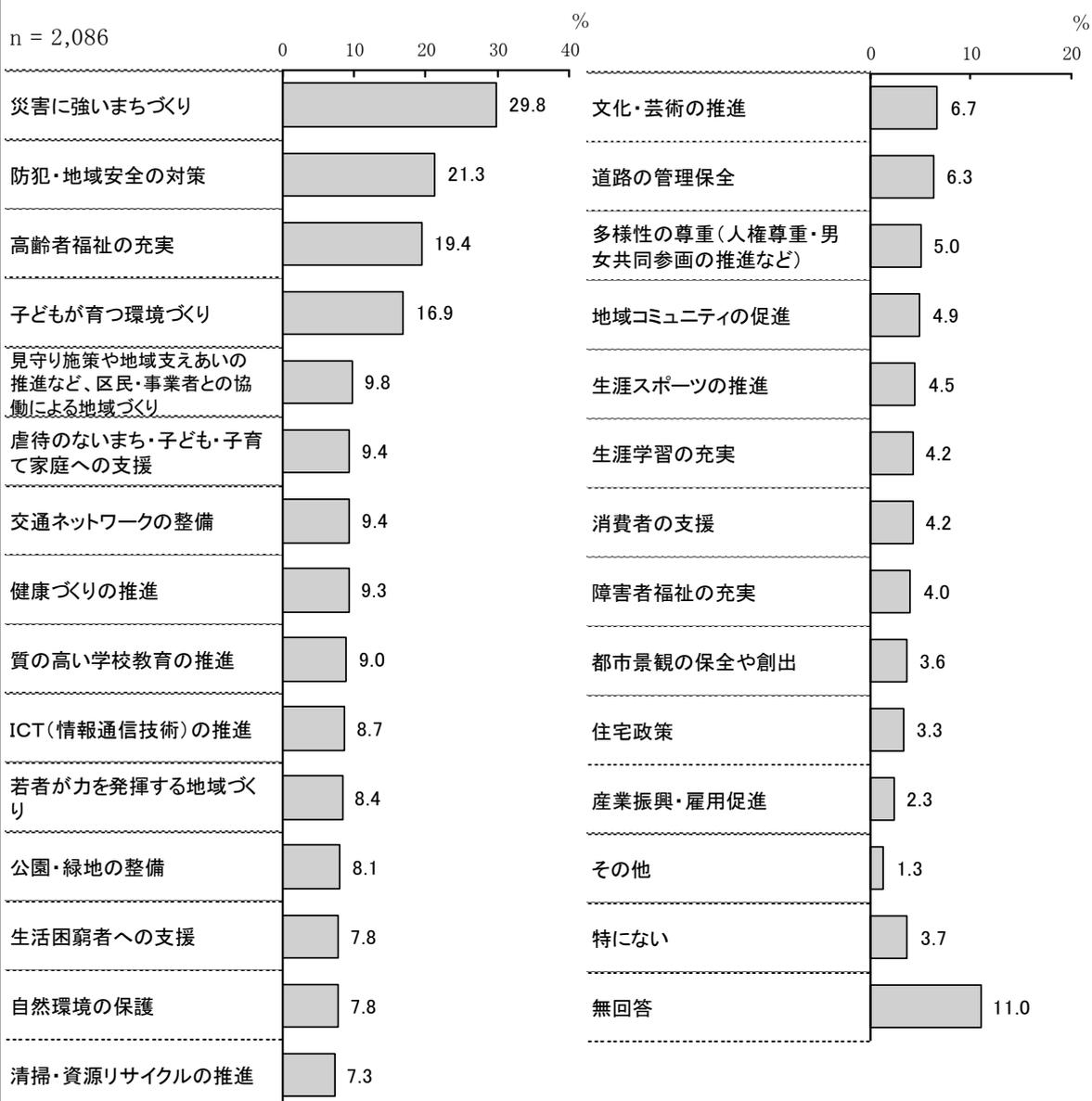
「道路が狭くて危険」が24.4%で最も高く、以下、「住宅が密集しすぎている」、「カラス等の鳥獣による被害」などと続いています。



## 2. 区政

### (1) 区が積極的に取り組むべき事業（複数回答）

「災害に強いまちづくり」が29.8%で最も高く、以下、「防犯・地域安全の対策」、「高齢者福祉の充実」などと続いています。

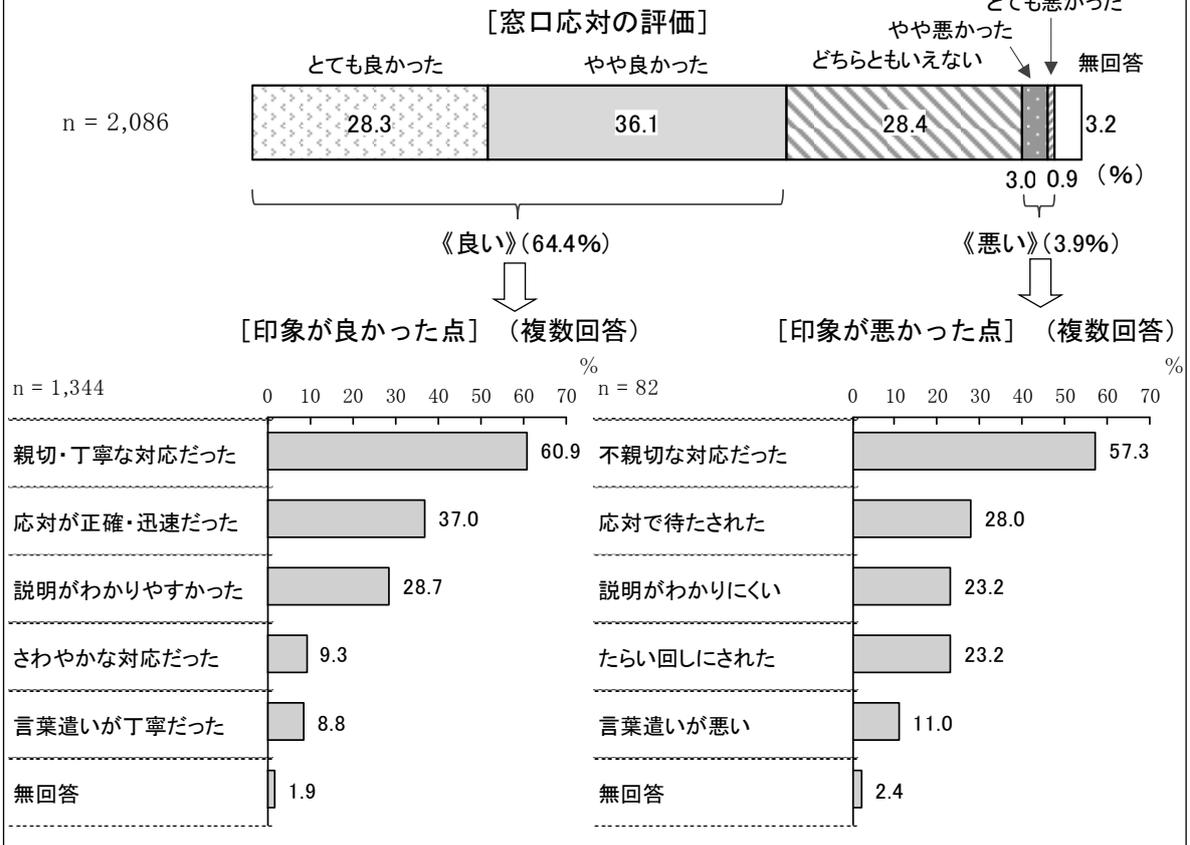


### 3. 職員対応

#### (1) 窓口対応の評価と印象が良かった点・悪かった点

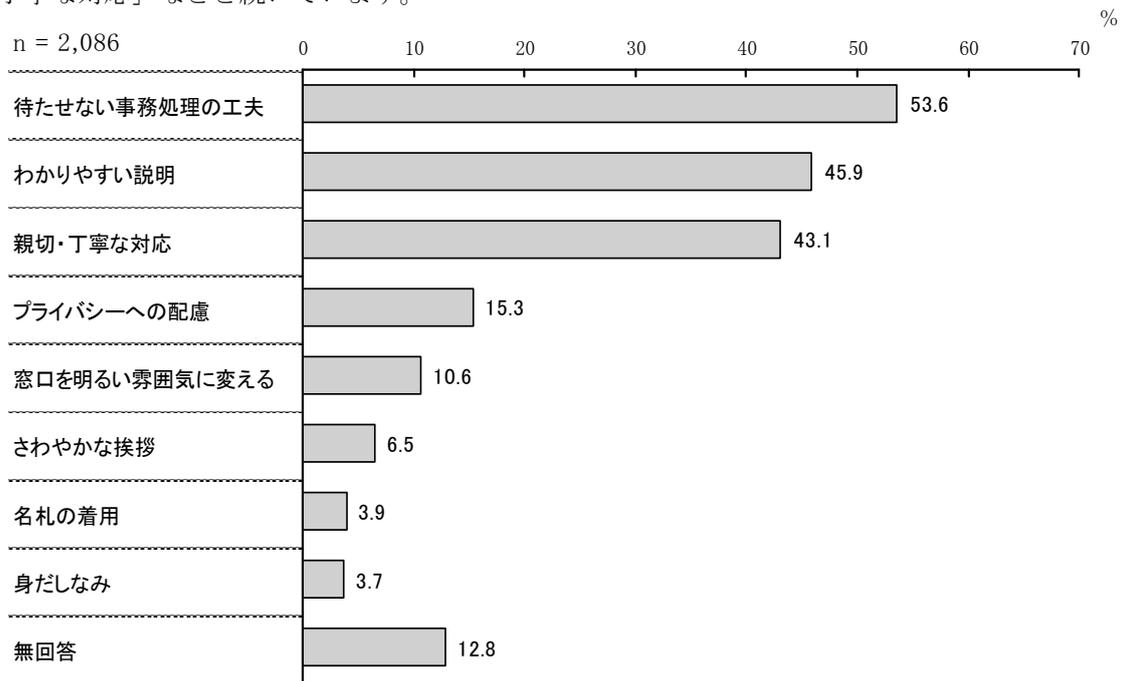
窓口対応は64.4%の方が《良い》と感じています。(令和2年度は62.1%)

親切・丁寧な対応だったかどうか、評価のポイントになっています。



#### (2) 職員対応での注意点 (複数回答)

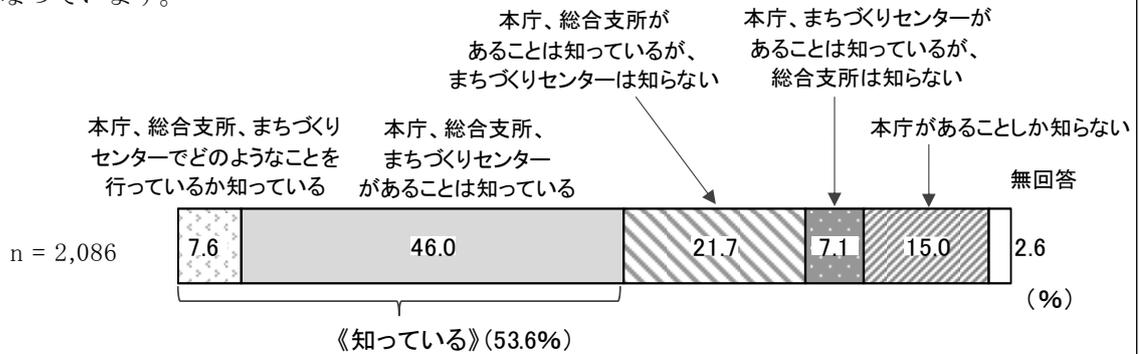
「待たせない事務処理の工夫」が53.6%と最も高く、以下、「わかりやすい説明」、「親切・丁寧な対応」などと続いています。



## 4. 地域行政制度

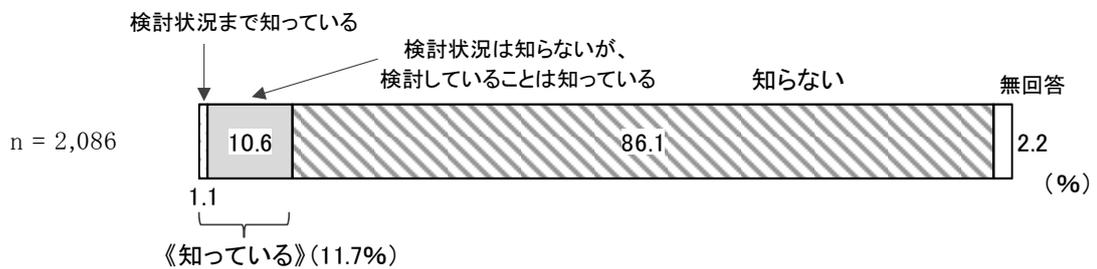
### (1) 行政拠点の認知度

「本庁、総合支所、まちづくりセンターでどのようなことを行っているか知っている」と「本庁、総合支所、まちづくりセンターがあることは知っている」を合わせた《知っている》が53.6%となっています。



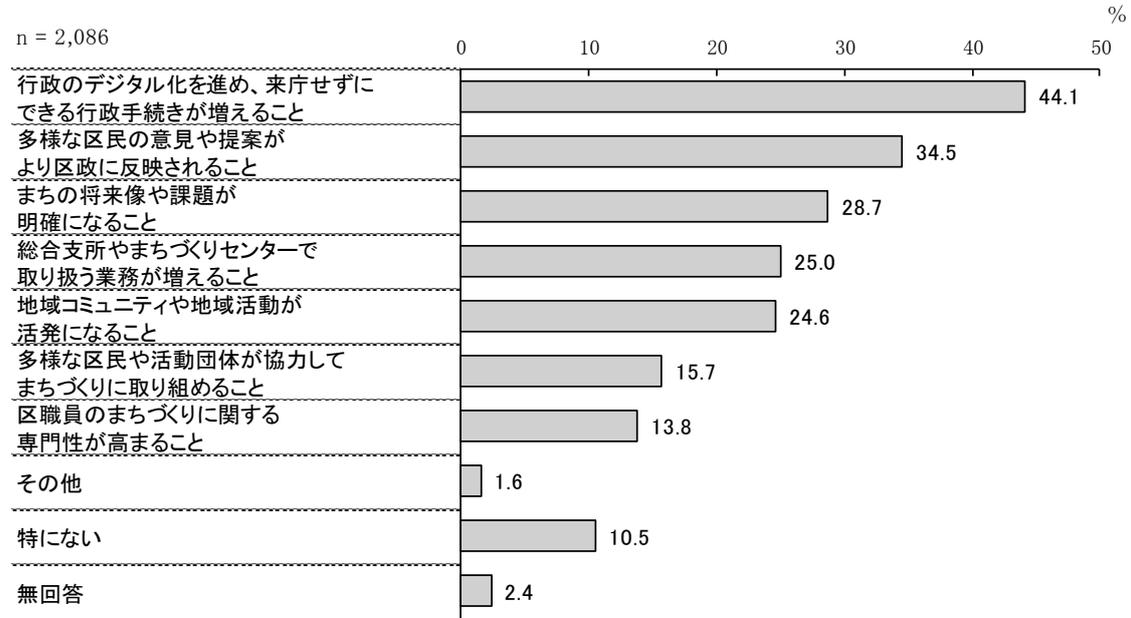
### (2) 条例制定に向けての検討の認知度

地域行政制度の条例制定に向けての検討の認知度を聞いたところ「知らない」が86.1%となっています。



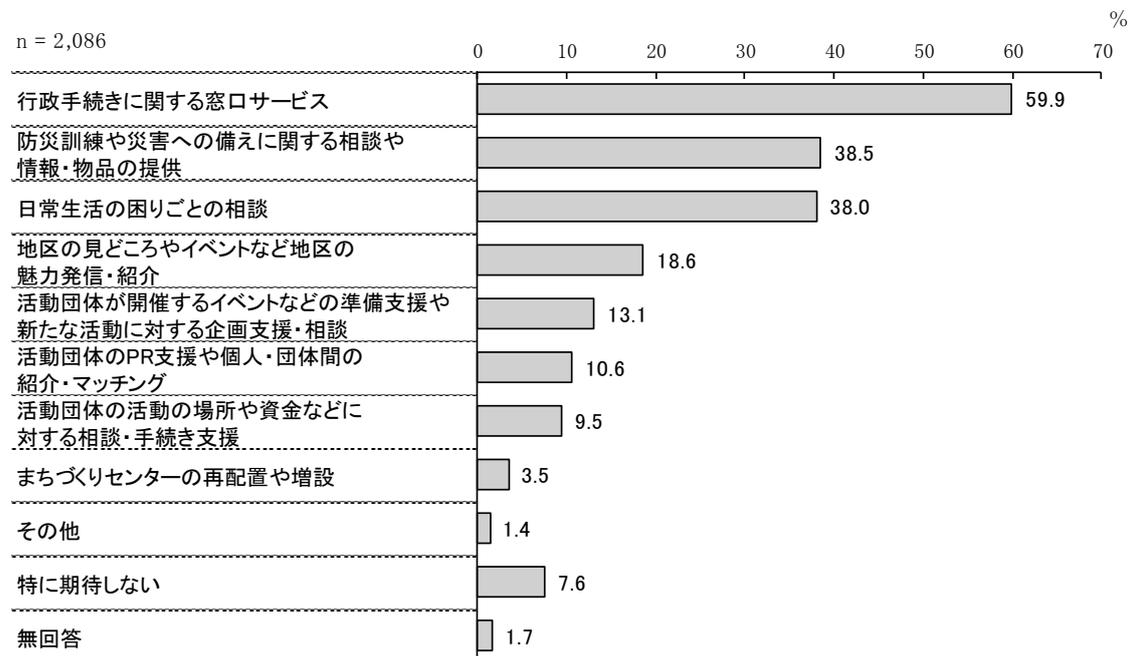
### (3) 地域行政制度の条例に期待すること（複数回答）

地域行政制度の条例にどのようなことを期待するか聞いたところ、「行政のデジタル化を進め、来庁せずにできる行政手続きが増えること」が44.1%と最も高く、以下、「多様な区民の意見や提案がより区政に反映されること」、「まちの将来像や課題が明確になること」、「総合支所やまちづくりセンターで取り扱う業務が増えること」、「地域コミュニティや地域活動が活発になること」などと続いています。



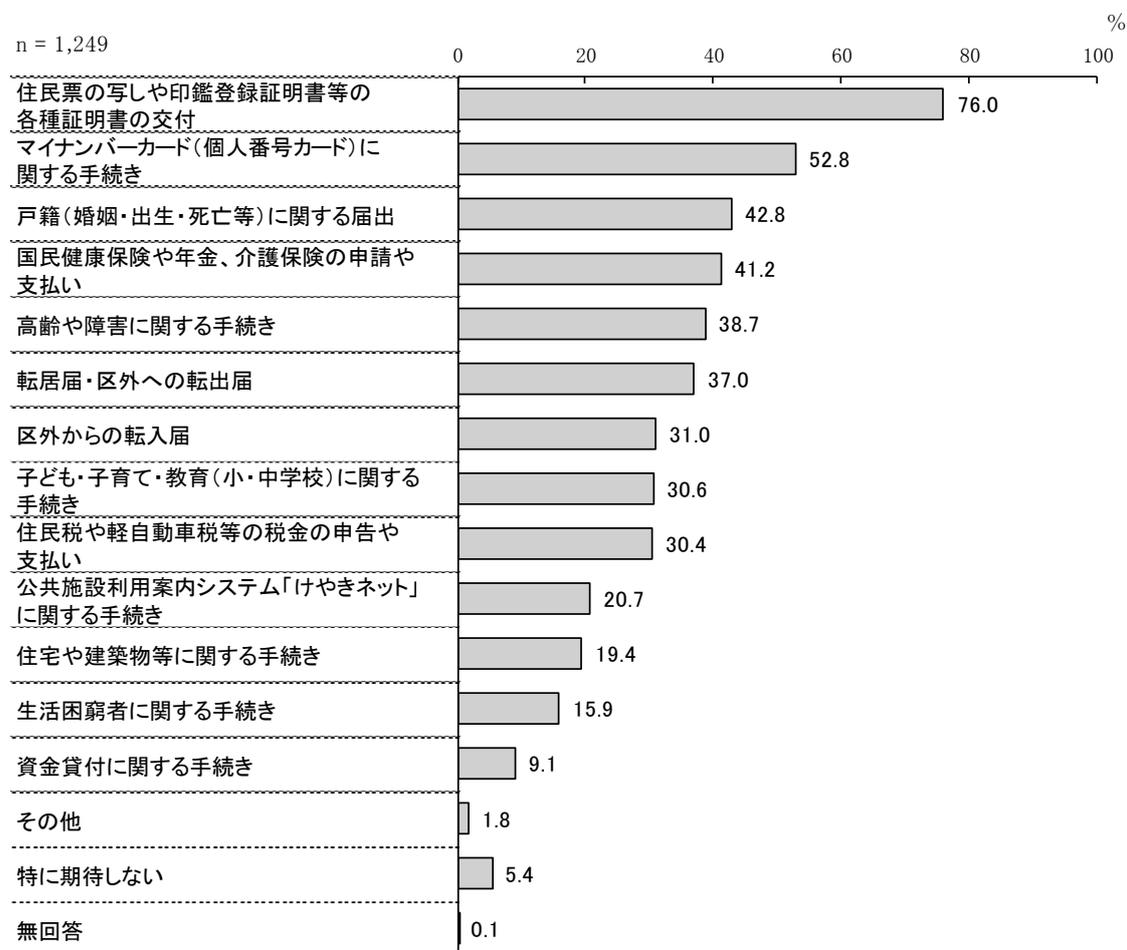
### (4) まちづくりセンターに期待すること（複数回答）

まちづくりセンターにどのようなことを期待するか聞いたところ、「行政手続きに関する窓口サービス」が59.9%と最も高く、以下、「防災訓練や災害への備えに関する相談や情報・物品の提供」、「日常生活の困りごとの相談」、「地区の見どころやイベントなど地区の魅力発信・紹介」などと続いています。



### (5) まちづくりセンターでできるとよい行政手続き（複数回答）

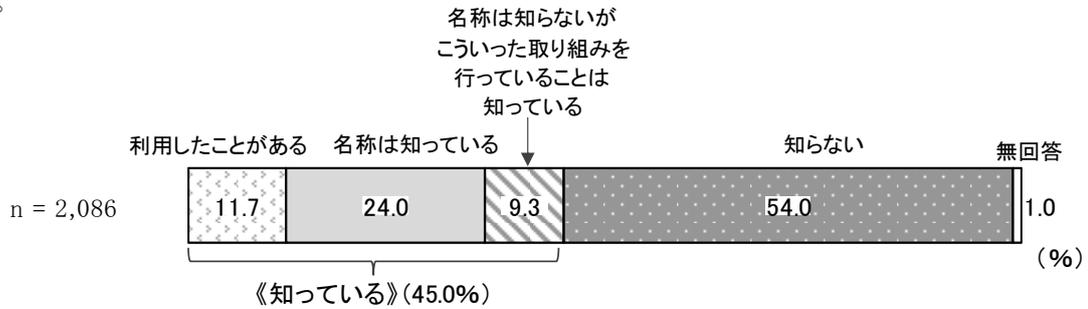
まちづくりセンターの窓口で、どのような行政手続きができることに期待するか聞いたところ、「住民票の写しや印鑑登録証明書等の各種証明書の交付」が76.0%と最も高く、以下、「マイナンバーカード（個人番号カード）に関する手続き」、「戸籍（婚姻・出生・死亡等）に関する届出」、「国民健康保険や年金、介護保険の申請や支払い」などと続いています。



## 5. 福祉と医療

### (1) 「福祉の相談窓口」の認知度

「福祉の相談窓口」の認知度を聞いたところ、「名称は知っている」(24.0%)、「利用したことがある」(11.7%)、「名称は知らないがこういった取り組みを行っていることは知っている」(9.3%)を合わせた《知っている》が45.0%、「知らない」が54.0%となっています。



## 6. 悩みや不安の相談先

### (1) 相談できる医療機関や行政窓口の認知度

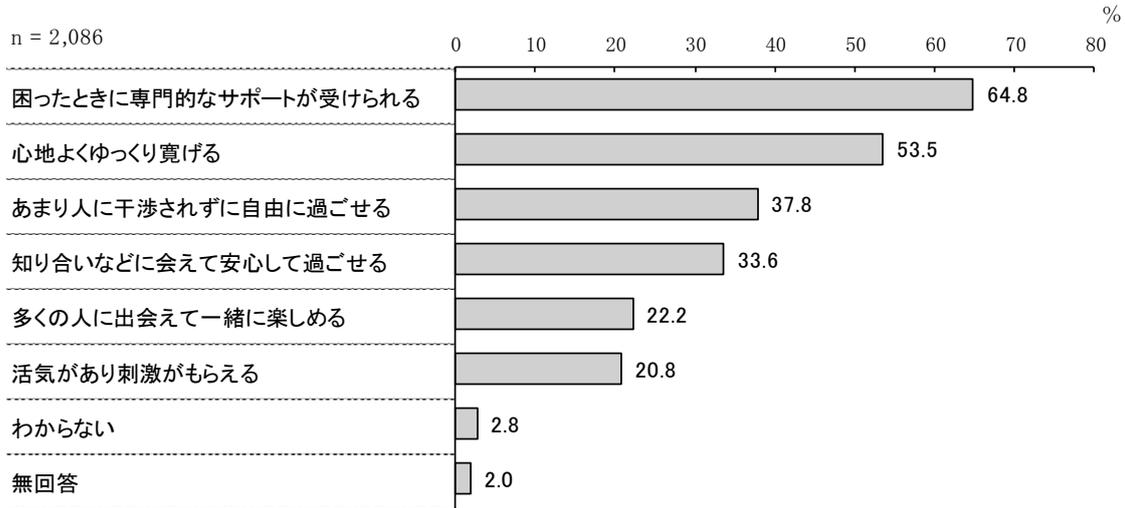
相談できる医療機関や行政窓口の認知度を聞いたところ、「知っている」が32.6%、「知らない」が66.4%となっています。



## 7. 高齢者の居場所

### (1) 高齢者が自宅以外で過ごす居場所に求めるもの（複数回答）

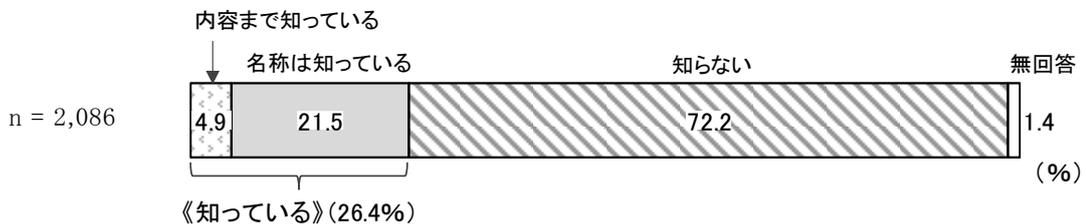
高齢者が自宅以外で過ごす居場所に求めるものについて聞いたところ、「困ったときに専門的なサポートが受けられる」が64.8%と最も高く、以下、「心地よくゆっくり寛げる」、「あまり人に干渉されずに自由に過ごせる」、「知り合いなどに会えて安心して過ごせる」など続いています。



## 8. 障害者を支える取り組み

### (1) 障害者差別解消法の認知度

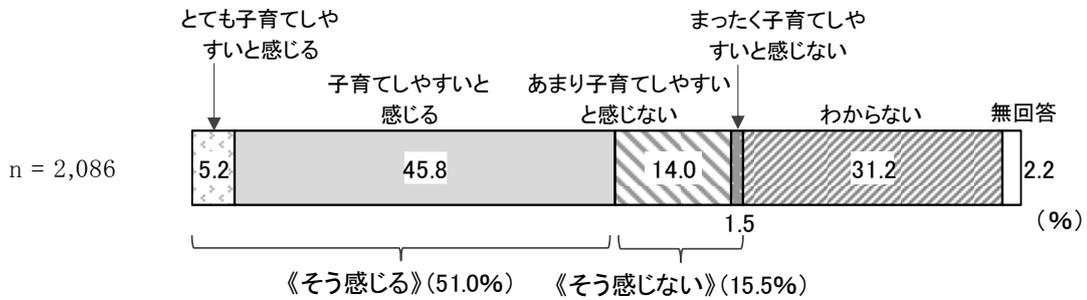
障害者差別解消法の認知度を聞いたところ、「内容まで知っている」(4.9%)と「名称は知っている」(21.5%)を合わせた《知っている》が26.4%、「知らない」が72.2%となっています。



## 9. 子育て・子どもを取り巻く環境

### (1) 区の子育て環境

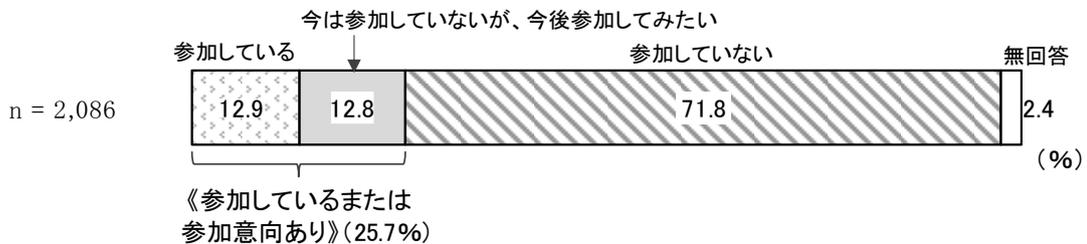
世田谷区の子育て環境について聞いたところ、《そう感じる》が51.0%、《そう感じない》が15.5%となっています。



## 10. 地域コミュニティ

### (1) 地域活動への参加経験・参加意向

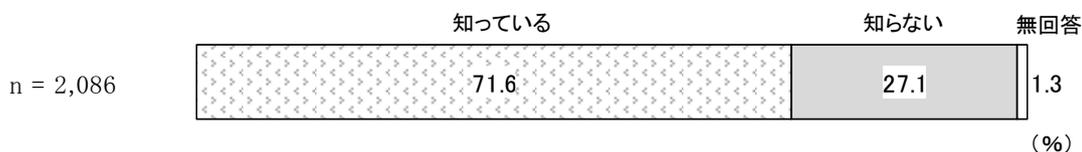
身近な地域の活動に参加しているかどうかを聞いたところ、「参加している」(12.9%)と「今は参加していないが、今後参加してみたい」(12.8%)を合わせた《参加しているまたは参加意向あり》が25.7%となっています。「参加していない」が71.8%となっています。



## 11. 公共施設

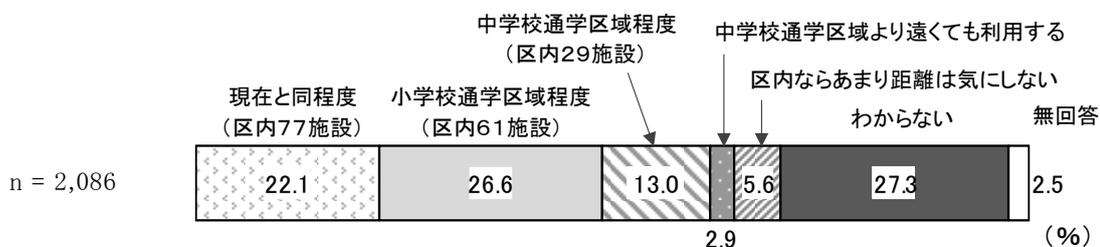
### (1) 地区会館や区民集会所の認知度

身近な区民集会施設である地区会館や区民集会所の認知度を聞いたところ、「知っている」が71.6%、「知らない」が27.1%となっています。



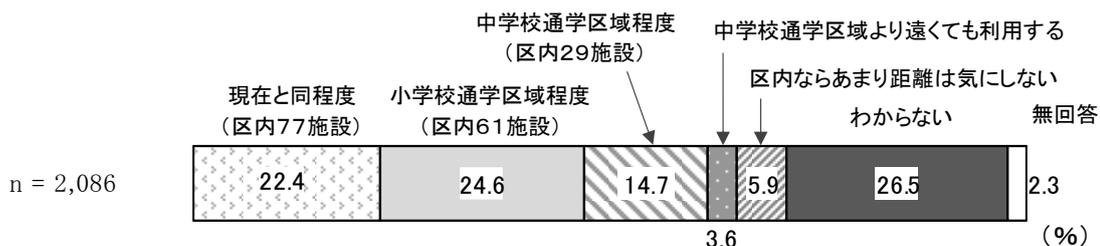
### (2) 体を動かすために利用したいと思う距離

体を動かす目的に利用する場合にどの程度の距離なら利用するか聞いたところ、「小学校通学区域程度」が26.6%と最も高く、次いで、「現在と同程度」が22.1%となっています。



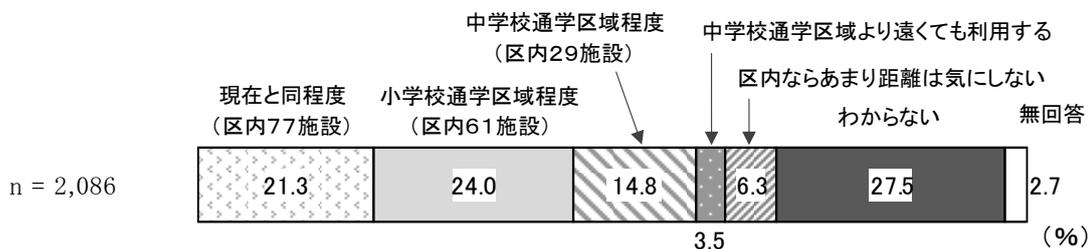
### (3) 会議・学習会のために利用したいと思う距離

会議・学習会のために利用する場合にどの程度の距離なら利用するか聞いたところ、「小学校通学区域程度」が24.6%と最も高く、次いで、「現在と同程度」が22.4%となっています。



### (4) 芸術活動のために利用したいと思う距離

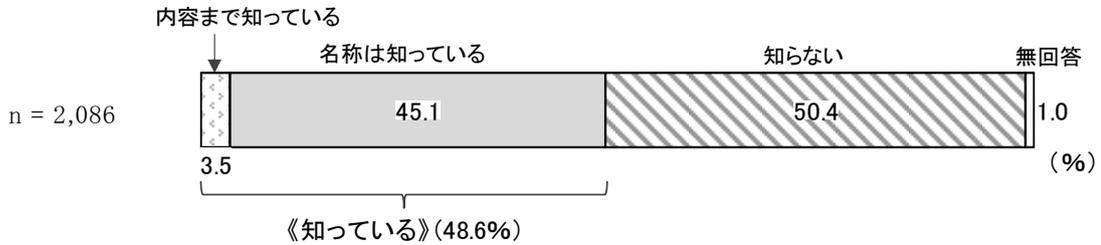
芸術活動のために利用する場合にどの程度の距離なら利用するか聞いたところ、「小学校通学区域程度」が24.0%と最も高く、次いで、「現在と同程度」が21.3%となっている。



## 12. 災害時の備え

### (1) 地区防災計画の認知度

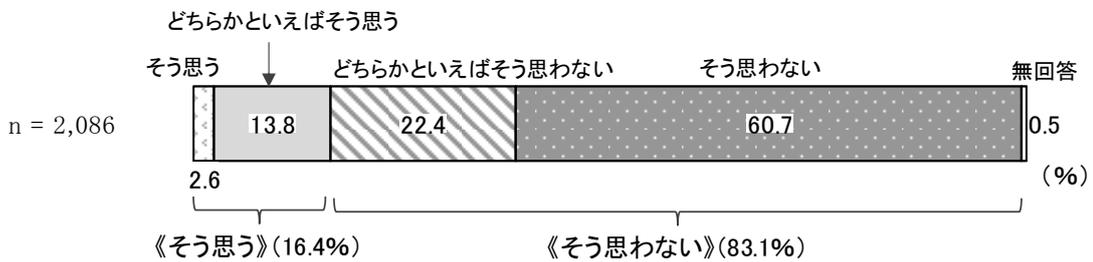
地区防災計画の認知度を聞いたところ、「名称は知っている」(45.1%)と「内容まで知っている」(3.5%)を合わせた《知っている》が48.6%、「知らない」が50.4%となっています。



## 13. 男女共同参画の推進

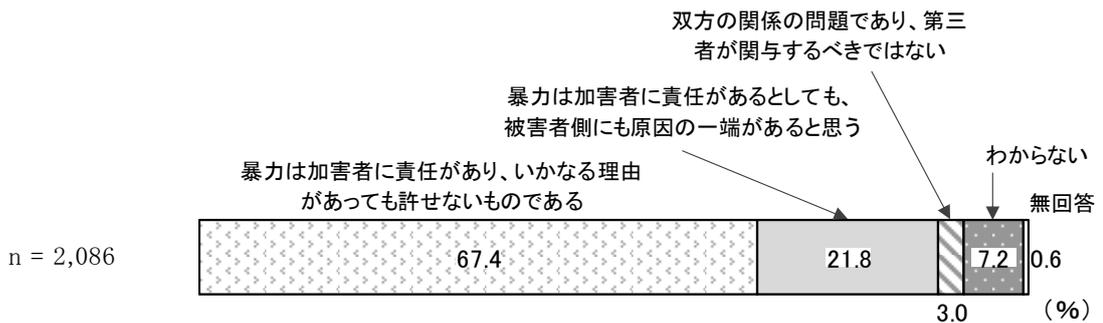
### (1) 「男は仕事、女は家庭」という考え方について

「男は仕事、女は家庭」という考え方について共感するか聞いたところ、《そう思う》が16.4%、《そう思わない》が83.1%となっています。



### (2) 「ドメスティック・バイオレンス」に対する考え方

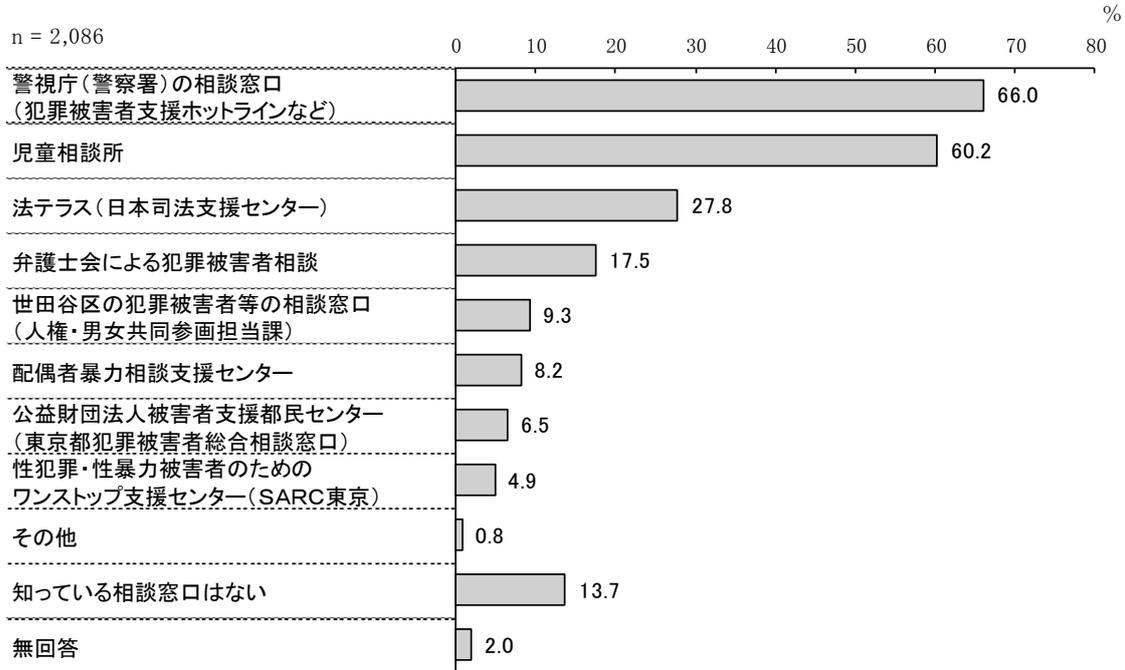
「ドメスティック・バイオレンス」に対する考え方について聞いたところ、「暴力は加害者に責任があり、いかなる理由があっても許せないものである」が67.4%と最も高く、次いで、「暴力は加害者に責任があるとしても、被害者側にも原因の一端があると思う」が21.8%となっています。



## 14. 犯罪被害者支援

### (1) 犯罪被害者支援の相談窓口の認知状況（複数回答）

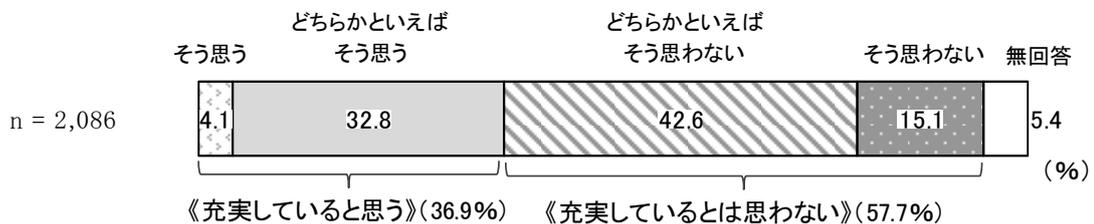
犯罪被害者支援の相談窓口の認知状況について聞いたところ、「警視庁（警察署）の相談窓口」が66.0%と最も高く、次いで、「児童相談所」が60.2%となっています。



## 15. 多文化共生

### (1) 区の多文化共生社会の実現に向けた施策の充実度

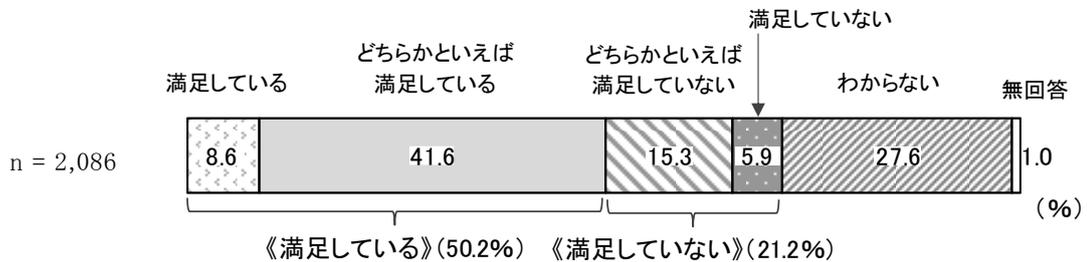
区の多文化共生社会の実現に向けた施策の充実度を聞いたところ、「充実していると思う」が36.9%、「充実しているとは思わない」が57.7%となっています。



## 16. 文化活動

### (1) 区内の文化資源環境への満足度

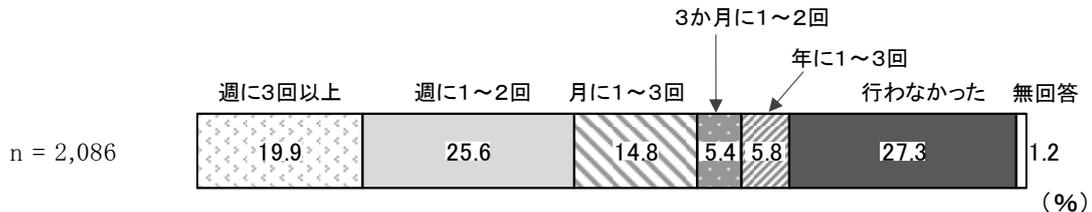
区内の文化資源環境への満足度を聞いたところ、《満足している》が50.2%、《満足していない》が21.2%となっています。



## 17. スポーツ

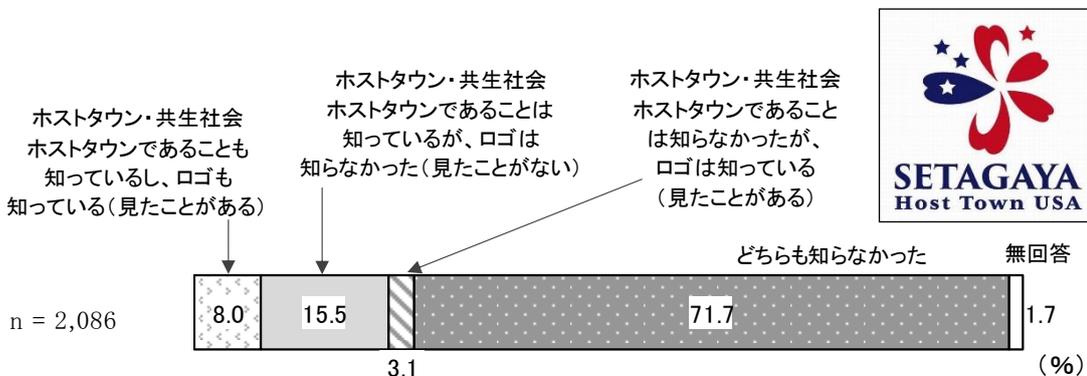
### (1) この1年間に行ったスポーツや運動の回数

この1年間に行ったスポーツや運動の回数を聞いたところ、「週に1～2回」が25.6%で最も高く、以下、「週に3回以上」、「月に1～3回」などと続いています。



### (2) ホストタウン・共生社会ホストタウンの認知度

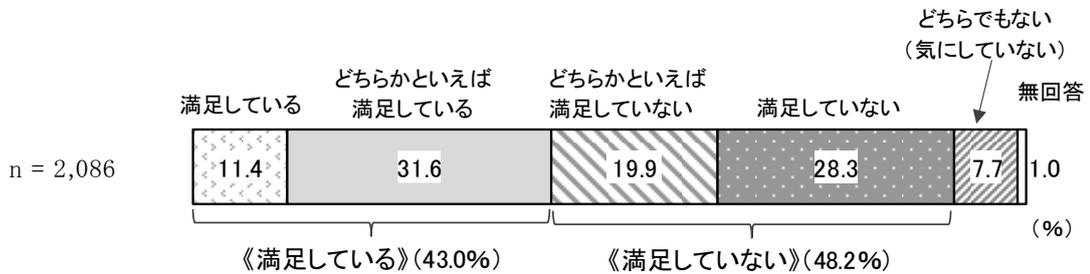
ホストタウン・共生社会ホストタウンの認知度を聞いたところ、「どちらも知らなかった」が71.7%を占めています。次いで、「ホストタウン・共生社会ホストタウンであることは知っているが、ロゴは知らなかった(見たことがない)」が15.5%となっています。



## 18. たばこマナー

### (1) 居住地域におけるたばこマナーの満足度

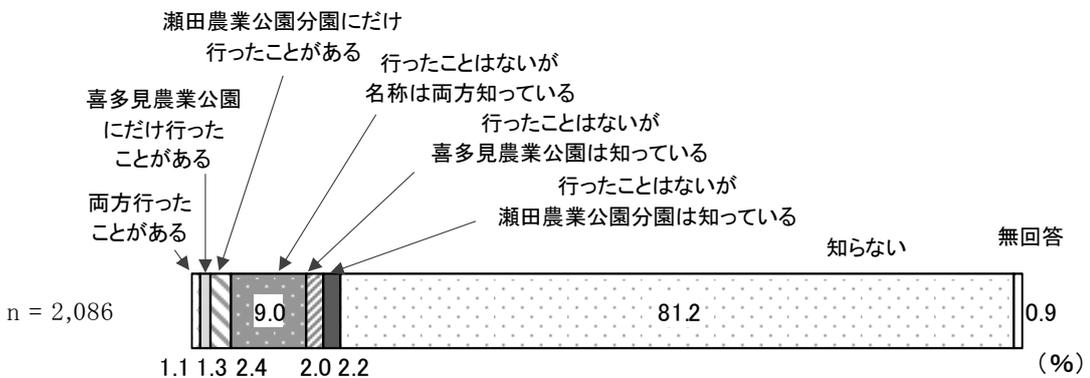
居住地域におけるたばこマナーの満足度を聞いたところ、《満足していない》が48.2%、《満足している》が43.0%となっています。



## 19. 農業

### (1) 農業公園の認知度

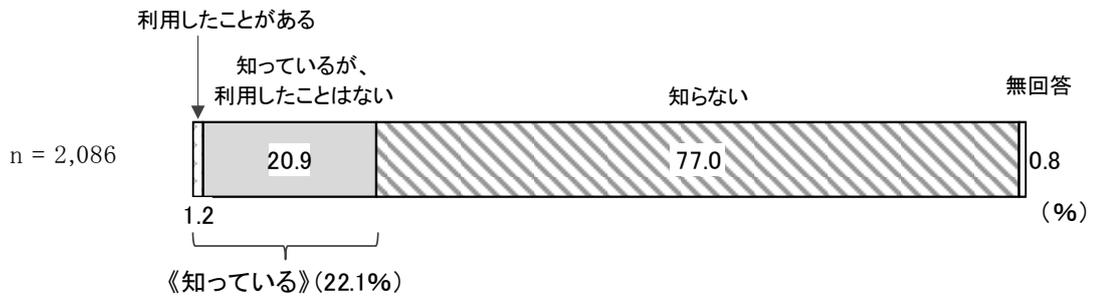
農業公園の認知度を聞いたところ、「知らない」が81.2%を占め、「行ったことはないが名称は両方知っている」が9.0%となっています。



## 20. 産業

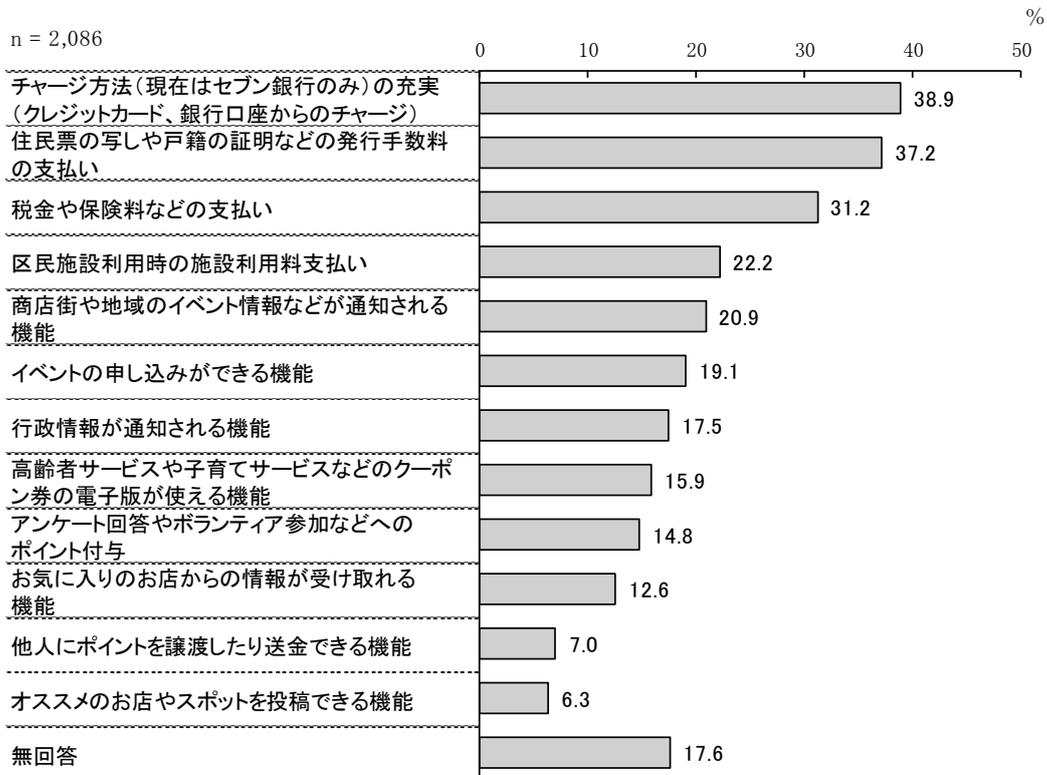
### (1) せたがやPayの認知度

せたがやPayの認知度を聞いたところ、「知らない」が77.0%と多数を占めています。「利用したことがある」(1.2%)と「知っているが、利用したことはない」(20.9%)を合わせた《知っている》は22.1%となっています。



### (2) せたがやPayの活用できる機能の希望 (複数回答)

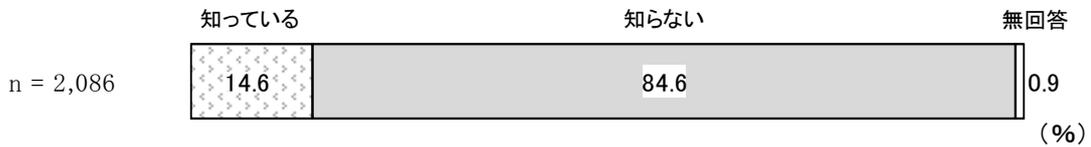
せたがやPayの活用できる機能の希望を聞いたところ、「チャージ方法(現在はセブン銀行のみ)の充実(クレジットカード、銀行口座からのチャージ)」が38.9%と最も高く、以下、「住民票の写しや戸籍の証明などの発行手数料の支払い」、「税金や保険料などの支払い」などと続いています。



## 21. 気候危機

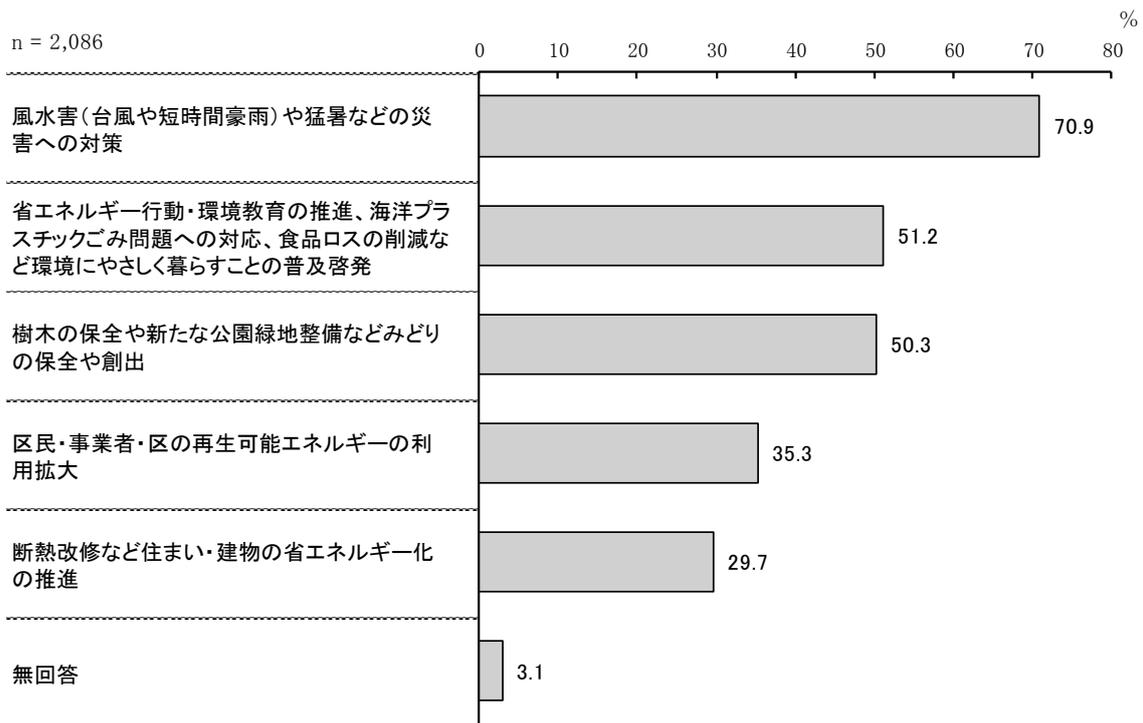
### (1) 気候非常事態宣言の認知度

気候非常事態宣言の認知度を聞いたところ、「知らない」が 84.6%と多数を占めています。「知っている」は 14.6%となっています。



### (2) 重点的に取り組むべき気候危機への対策（複数回答）

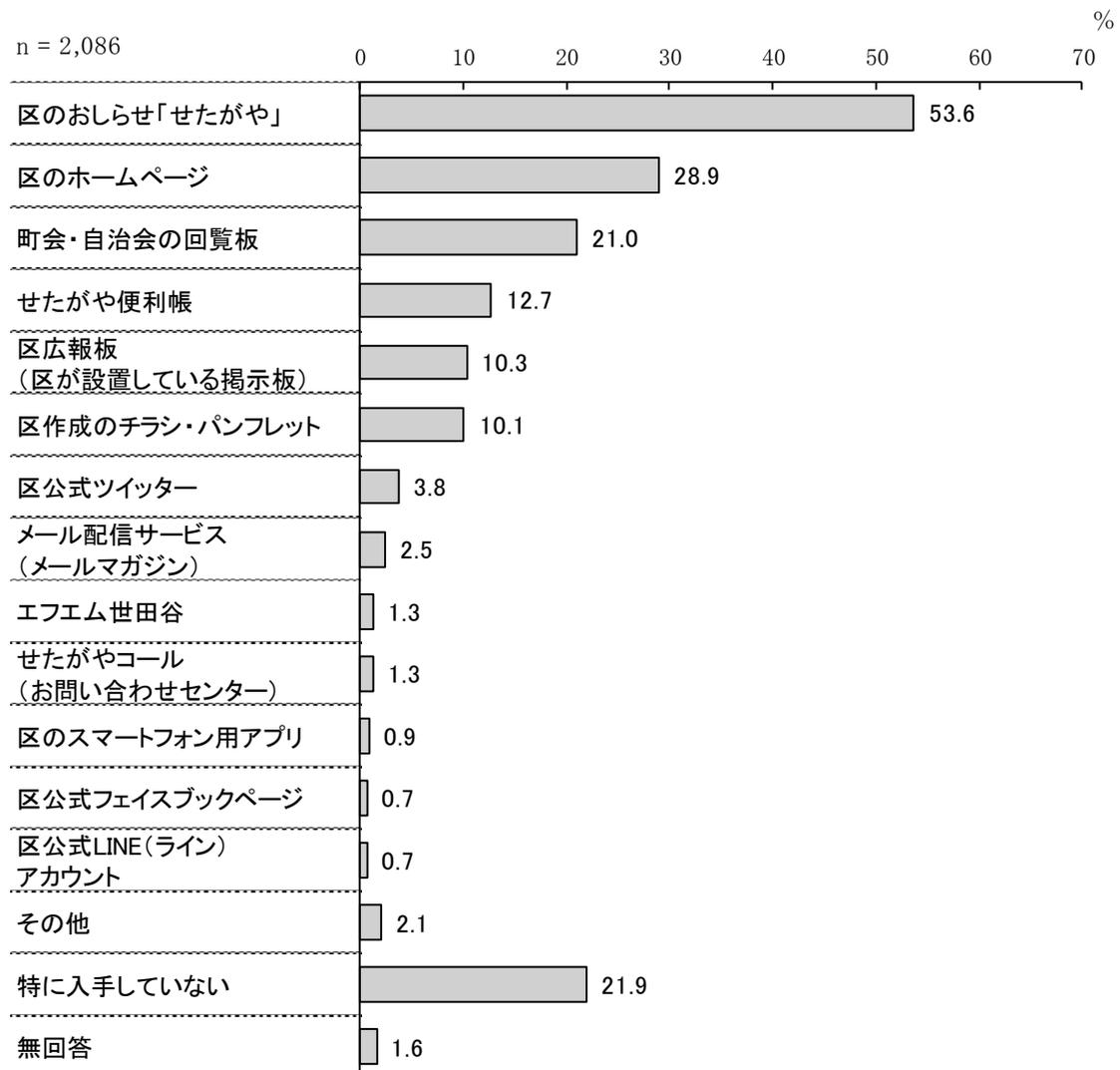
重点的に取り組むべき気候危機への対策について聞いたところ、「風水害（台風や短時間豪雨）や猛暑などの災害への対策」が 70.9%と最も高く、以下、「省エネルギー行動・環境教育の推進、海洋プラスチックごみ問題への対応、食品ロスの削減など環境にやさしく暮らすことの普及啓発」、「樹木の保全や新たな公園緑地整備などみどりの保全や創出」などと続いています。



## 22. 広報

### (1) 区に関する情報の入手先（複数回答）

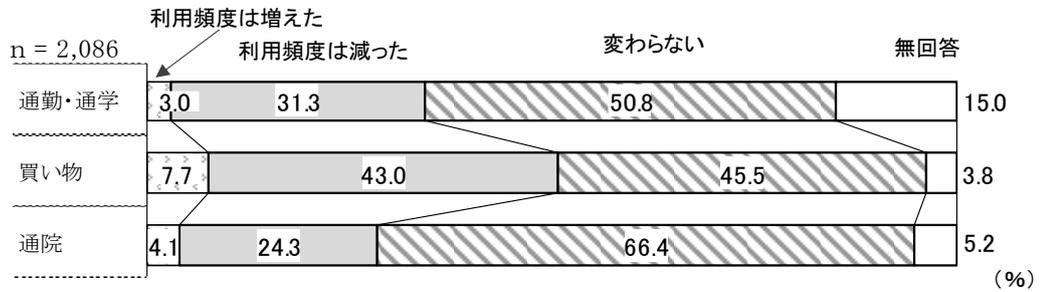
区に関する情報の入手先について聞いたところ、「区のおしらせ「せたがや」」が53.6%で最も高く、以下、「区のホームページ」、「町会・自治会の回覧板」、「せたがや便利帳」、「区広報板（区が設置している掲示板）」、「区作成のチラシ・パンフレット」などと続いています。



## 23. 新型コロナウイルス感染症に伴う生活への影響

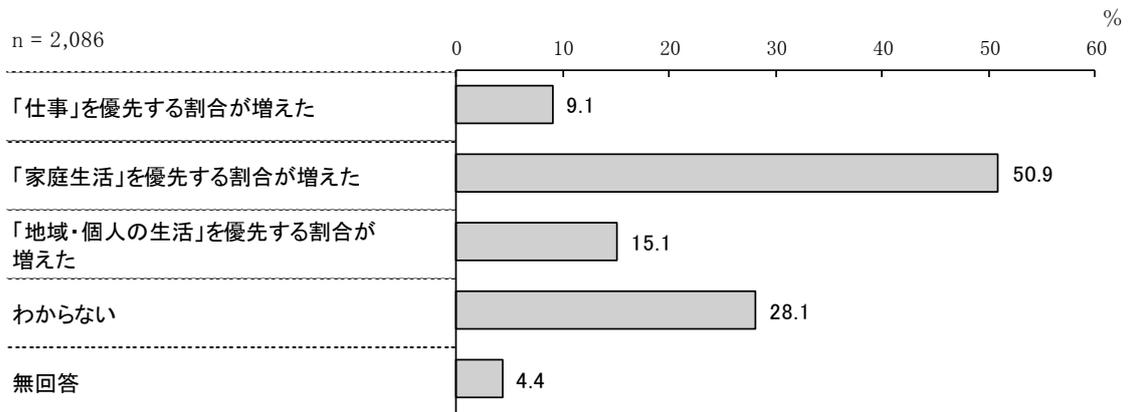
### (1) 目的ごとの各交通手段の利用頻度の変化

目的ごとの各交通手段の利用頻度の変化について聞いたところ、「変わらない」が通勤・通学 (50.8%)、買い物 (45.5%)、通院 (66.4%) いずれでも最も高くなっています。「利用頻度は減った」のは、買い物 (43.0%) で最も高くなっています。



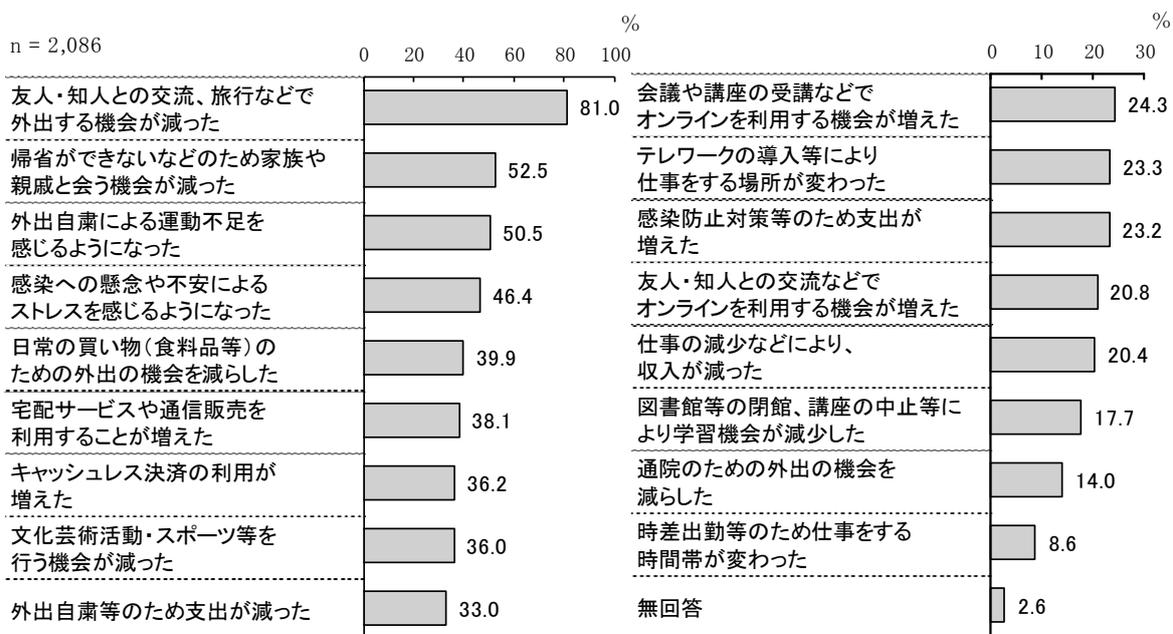
### (2) 新型コロナウイルス感染拡大による生活の優先度の変化 (複数回答)

新型コロナウイルス感染拡大による生活の優先度の変化について聞いたところ、「「家庭生活」を優先する割合が増えた」が 50.9% で最も高くなっています。



### (3) 新型コロナウイルス感染拡大による仕事や生活への影響（複数回答）

新型コロナウイルス感染拡大による仕事や生活への影響は、「友人・知人との交流、旅行などで外出する機会が減った」が81.0%で最も高く、以下、「帰省ができないなどのため家族や親戚と会う機会が減った」、「外出自粛による運動不足を感じるようになった」、「感染への懸念や不安によるストレスを感じるようになった」、「日常の買い物（食料品等）のための外出の機会を減らした」などと続いています。



### 世田谷区民意識調査2021（概要版）

令和3年9月発行（広報印刷物登録番号 No. 1968）

発行 世田谷区政策経営部広報広聴課  
 東京都世田谷区世田谷4丁目21番27号  
 電話：03（5432）2014  
 ファクシミリ：03（5432）3001

実施 株式会社名豊  
 愛知県名古屋市中区松原2丁目2番33号  
 電話：052（322）0071（代表）  
 ファクシミリ：052（322）0130